



ALBA 新聞 ～希望の夜明け～

桜の見ごろが近づいていき今を盛りとばかりに咲き誇っています。
新年度もスタートし、皆様の新生活が実り多きものとなるよう祈っています。

(H・M)

実習を終えた感想

※お店の許可を得て撮影しています。



私は1月末から2月初めにかけて、住之江区のマクドナルド新北島店様へ3日間実習に行きました。業務内容は主に清掃でした。ほうきで床をはいてモップを掛ける作業や、絞った布巾で机や商品をのせるトレイを拭く作業を体験しました。

1日目は忙しく働く皆さんに圧倒されてうまくお声がけができなかったり、使い分けるべき布巾の種類を間違えてご注意いただく事がありました。そこで私はそのようなミスを繰り返さないよう、ご注意いただいたことや新しく覚えたことはその都度メモをとり、帰ってから1枚の紙にまとめました。

2日目の朝、バックヤードで着替えを済ませ、昨日まとめた紙を見ていると一人の方に「緊張してる？」と尋ねられました。私は正直に「はい」と答えました。その方は「そうですね、私も昔緊張しました。でも皆優しいから何でも聞いてください！」と、緊張していた私を励ましてくださいました。その顔は、キッチンで真剣に料理と向き合う時とはまた違った、共に働く仲間を思いやる温かな表情でした。

最終日は新商品の発売日だったので、出勤時からバックヤードは緊張感に包まれていました。お客様がひっきりなしにご来店され、使われたテーブルやトレイや椅子を拭く作業を同時進行しなくてはなりません。そんな中でも指示があった場合はメモをして、うっかり忘れないよう努めました。そして、全ての実習日程が終了しました。

振り返りでは、「作業は丁寧だけどお客様を待たせてしまうのはいけないので、このままでは雇用することはできません」とコメントをいただきました。作業スピードは、以前から課題だっただけに、そこを意識できなかったことが悔しかったです。しかし、同時に「ビジネスマナーは100点。ご来店されたお客様に『いらっしゃいませ』と挨拶ができていて、この3日間でお客様にいい印象を与えられたと思う」「ルールを守って作業に取り組めてよかった」と言っていただきました。それから「Diploma」と書かれた色紙のようなものを頂きました。これは卒業という意味でその事を知った時、思わず涙が込み上げました。振り返りで頂いたお言葉と卒業証書は私にとって大きな自信とバネになったので、この経験を糧に就職活動を頑張ります。

(T・A)



新生活で始まってからやりたいことは？アンケート

アルバの利用者さん・スタッフさんに、新生活が始まってからやりたいことのアンケートをとりました。ご協力していただいたみなさんありがとうございました。

今回のアンケートでいちばん多かった回答は「**部屋の掃除・片付け・整頓**」

次に多かった回答は「**新しい服を買うこと**」でした。

そのほかにも部屋に関するものが多く、家具の移動・買い替えや、ねこと暮らす理想の生活のためにペット可の物件に引っ越したい！という回答もありました。春からは新しいお部屋と服で身も心もリフレッシュしたいですね。

以下はそのほかの回答です。

・生活系

料理を作れるように頑張る、コツコツお金をためて好きなものを買えるようにする、体調管理、アニマルセラピー、メンタルケア

・お仕事系

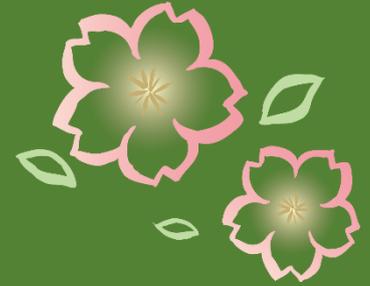
面接についての色々、職業の適性を深く調べる、職場見学、いろんな仕事のあり方を考える

・勉強系

資格を取る、パソコンを使って新しいことを学ぶ、新たなプログラムを考える、レクリエーション（やったことないもの）、お金を稼ぐ方法と貯める方法、口座・クレジットカードの作り方、仕事探し・一人暮らしのための情報

・趣味系

いつもと違う場所で何かをする（なんでもいい）、オススメの動画を見る、ブログ制作



(K・T) (O・T)

4月13日は『喫茶店の日』！

喫茶店の日は1888年4月13日に、東京・上野で『可否茶館（かひさかん）』が開業したことが由来となっております。鄭永慶（てい えいけい）という中国人が、アメリカで体験したカフェを再現したくて、自宅を改造してオープンしたのが可否茶館（かひさかん）です。喫茶という言葉の歴史は古く鎌倉時代から使われてきましたが、当時は「コーヒー」ではなく中国から伝わったお茶を飲むことを指していました。

ここで豆知識ですが、皆様は『喫茶店』と『カフェ』の違いをご存じでしょうか？喫茶店は「喫茶店営業」として、酒類以外の飲み物または茶菓をお客に提供する施設。カフェはレストランや一般食堂、バーなどと同じく「飲食店営業」として食品を調理し、または設備を設けてお客に酒類や食べ物を提供する施設となっております。

現在は閉店してしまいましたが、可否茶館は跡地として現在でも上野湯島の近くに残されています。

気になる方は足を運んでみるのもいいかもしれませんね。

(M・M) (I・S)



各SNSでプログラムの様子を見ることが出来ます。
是非チェックしてみてください。
5月号もお楽しみに！

